

令和 6 年度
価値共創促進事業の選定結果について
(答申)

令和 6 年 9 月
府中市市民協働推進会議

令和6年4月26日付けで、高野市長より諮問を受けた事項のうち、価値共創促進事業の選定結果について、ここに、答申として提出いたします。

府中市市民協働推進会議	市長	藤江昌嗣
副会長	青山亨	
委員	伊沢美由紀	
同	井上雅允	
同	坂牧早苗	
同	鈴木琢真	
同	関谷昂	
同	花岡麻穂子	
同	森田美千代	
同	山岡法次	
同	山根浩子	

目 次

1	価値共創促進事業について	1
2	交付予定事業候補選定のながれ	1
3	選定結果	2

参考資料

- 1 市民協働推進会議協働事業選定・評価部会 価値共創促進事業採択者審査基準

1 価値共創促進事業について

価値共創促進事業は、地域課題や社会的な課題の解決に向けて、市民と市が協働・共創し、市民生活の向上に繋がる新たな価値を提供し得る事業を、市民の皆様からご提案いただく制度です。

この価値共創促進事業は、フリー型価値共創促進事業と、テーマ型価値共創促進事業があり、フリー型価値共創促進事業は、市民の自由な発想に基づき提案できるもので、テーマ型価値共創促進事業は、市が掲げたテーマに基づき事業を提案できるものです。

2 交付予定事業候補選定のながれ

令和6年5月15日（水）から8月15日（木）までに提案のあった2事業について、9月12日（木）に、審査会を実施しました。

審査会では、提案団体による公開プレゼンテーションと質疑応答を行った後、府中市市民協働推進会議の委員で構成する「市民協働推進会議協働事業選定・評価部会（以下「部会」といいます。）」と、オブザーバーとなる外部の価値共創アドバイザー及び市民協働推進部長、協働共創推進課長との意見交換を経て、部会による審査を行い、令和6年度価値共創促進事業の候補事業として選定しました。

【市民協働推進会議協働事業選定・評価部会員】

役 職	氏 名
部会長	鈴木 琢 真
委 員	伊 沢 美由紀
委 員	山 根 浩 子

【オブザーバー】

所 属	氏 名
（特非）N P O サポートセンター	小 堀 悠
府中市市民協働推進部長	山 下 隆 久
府中市市民協働推進部協働共創推進課長	小 塚 栄 志

3 選定結果

当会議が行った、令和6年度価値共創促進事業選定結果については、次のとおりです。

No.	事業名	団体名	市担当課	実施内容	申請方法	総事業費 (委託料)	選定結果	採択にあたっての主な意見及び不採択の理由
1	デジタルチケットを活用した公共交通利便性向上事業（2年目）	RYDE株式会社	都市整備部計画課	「ちゅうバス」回数券のデジタル化、タクシー乗車券のデジタル化を行うことにより、交通手段の多様化を図るとともに、多種多様な市民ニーズを把握し、デジタル技術活用による交通サービスの効率化・利便性の向上に向けた検討材料として提供する。	フリー型	4,107,014 円 (1,400,000 円)	条件付採択	【付帯条件】 ・業務内容の詳細及び当該業務に関する時間の妥当性に関する書類を提出すること 【主な意見】 ・デジタル化を実装する際に公共交通の利便性向上の視点だけでなく、様々な事業者（バス事業者以外）との連携による地域活性化を見据えた事業展開を検討してほしい。 ・より多くの利用者の参加を促す広報等の周知方法を工夫してほしい。 ・利用者へのアンケートについては、成果報告を見据えた内容にしてほしい。
2	府中市文化財を知る！AR ガイド&AR 街歩き	株式会社 palan	文化スポーツ部 ふるさと文化財課	AR（拡張現実）を活用して、 ・ 特定の人材に依存せず、いつでも誰もが歴史と文化を知ることが出来る仕組みの構築 ・ 社会教育の観点において、誰でも楽しみながら学習できるコンテンツの設計を行う。	フリー型	1,850,000 円 (1,850,000 円)	条件付採択	【付帯条件】 ・事業の実施に当たり、文化財等は重要な地域資源であることから観光プロモーション課等の他部署や、歴史や文化の継承を支えてきた市民活動団体等と連携・協働すること。 【主な意見】 ・AR を活用した市内の指定等文化財の解説について、今回は4か所の限定的な実施となるが、将来的にはその実施個所数を増やすなど市内全域での実施を検討してほしい。

令和 6 年度価値共創促進事業審査 点数表

評価項目			地域課題の明確性	共創の必要性	公益性・社会的インパクト	斬新性	実現可能性	妥当性	合計点	割合	可否審査	
No	団体名	事業名	点数	点数	点数	点数	点数	点数			可/否	割合
1	RYDE 株式会社	デジタルチケットを活用した公共交通利便性向上事業	22	22	22	23	23	20	132	73.3%	可	100%
2	株式会社 palan	府中市文化財を知る！AR ガイド&AR 街歩き	24	27	26	25	23	24	149	82.8%	可	100%

参考資料

市民協働推進会議協働事業選定・評価部会
価値共創促進事業採択者審査基準

審査項目	審査の視点	満点
の地域課題 明確性	地域課題をデータ等により具体的に認識・分析し、市民や地域のニーズを的確に捉えているか。	10
	行政単独では解決できない課題が明確に存在するか。	
共創の 必要性	市にとって共創する意義があり、課題解決のために市が関わることがふさわしい事業か。	10
	団体と市との役割分担が明確かつ妥当なものであるか。	
	行政では従来にはない解決策であると認められるか。	
公益性・社会的 インパクト	特定の人々の利益ではなく、不特定多数の市民の利益又は社会全体の利益に寄与するか。	10
	事業を共創することにより、（一定程度）社会変革に寄与することが期待できるか。	
	ロジックモデルの内容が妥当（実現可能性、ロジックに矛盾がないか）であるか。	
斬新性	新しい視点と創意による要素が盛り込まれた事業か。	10
	事業の発展性や将来性が期待できるか。	
	市にとって新たな取組であり、何らかのイノベーション創出につながるか。	
実現可能性	目標が明確で、達成が見込める（無理のない）計画となっているか。	10
	計画を実現できる体制（人材面・資金面）を有しているか。	
	提案書や提案説明で、事業のポイントや団体の熱意を的確に伝えられているか。	
妥当性	費用対効果の視点で、市の委託事業として妥当であるか。	10
	令和6年度中に緊急で実施すべき事由があると認められるか。	
合計		60

2 採点基準

満点	特に良い	良い	普通	やや劣る	劣る	評価対象外
10 点	10・9 点	8・7 点	6・5 点	4・3 点	2・1 点	0 点

※各審査員が「可」または「不可」を判定します。

一つの審査項目につき、10点満点の計60点とし、各審査員がそれぞれ採点を行います。全審査員の合計点を審査の点数とし、審査の点数が6割を超え、かつ「可」が過半数を超えることを審査通過にあたっての最低基準とします。